

～～第8263回～～

鳳凰三山

～H29.9.13-14～

青木鉱泉からドンドコ沢を登り、オベリスクで有名な地藏岳、観音岳、薬師岳を巡って中道を下り一周する。藤枝を5:00に出発し、国道20号から小武川林道に入る。林道は狭く未舗装部分に穴ぼこが多い。青木鉱泉の駐車場に車を止め歩き始める。崩壊地の工事現場を迂回し緩やかに登ってゆく。南精進ヶ滝経由で行く。観瀑台をのぞくと滝が現われる。見事な二段瀑だ。狭いが空いているので滝を眺めながら昼食をとる。しばらくすると登山者が次々に現れるので退散する。本来の登山道に合流し、少し登ると鳳凰ノ滝分岐だ。2番目の分岐にザックをデポして滝へ降りる。倒木が多く歩きにくい、ホウオウシャジンやタカネビランジに会う。兩岸の絶壁から二つの滝が向かい合って落ちている。分岐に戻って先へ進む。急勾配が続く一番キツイところだ。白糸ノ滝で一息つく。滝を遠望し、さらに急登は続く。4番目の五色ノ滝は下から眺めると空から落ちてくるような滝だ。滝を後に最後の急登を上る。道はなだらかになり鳳凰小屋に着く。小屋前のベンチで寛いでいると、ヤマネの子が出てきた。10cmくらいでネズミのように見えるが、とても可愛い。チョロチョロと動き回る1匹が人なつこい。小屋の人の話では母親は無く、子だけで冬を越さなければならないそうだ。ひとしきりヤマネと遊び楽しませてもらう。夕食は今時珍しいカレー。今夜は空いていて余裕だ。2日目は朝食を食べて6:00に小屋を出る。気温は6℃で肌寒い。ご来光を見るためか、朝食前にかなりの人が小屋を登っていた。樹林帯を登って行くと突然、目の前に白砂が広がり日向山のような。賽ノ河原にはお地藏さんが沢山並び、後には甲斐駒ヶ岳・仙丈岳・北岳が並んで見える。見上げれば巨大な地藏岳のオベリスクに圧倒される。オベリスクの途中まで登り一周する。これから向かう観音岳の横に富士山が浮かぶ。赤抜沢ノ頭から下って登り返すと、鳳凰三山最高点の観音岳(2841m)は360度の大展望だ。ホウオウシャジンとタカネビランジがあちこちに咲いている。ライチョウもいた。快適な稜線を30分ほど歩き薬師岳に着く。甲斐駒ヶ岳が眼前に大きい。砂払岳の方に見える真新しい屋根は8月に新築したばかりの薬師岳小屋だ。1600mの下りに備え腹拵えをする。御座石が下方の森の中に浮かんでいる。針葉樹林帯の急坂で、暗く足場も悪い。巨大な御座石を過ぎ、やがて明るいダケカンバの林に変わると緩やかになる。カラマツの人工林からまた傾斜が急になり、歩くのが嫌になる。さらに傾斜は増し、道はジグザグに下っていく。長い下りが終わって林道(中道登山口)に出ると、さらに40分歩いて青木鉱泉へ戻る。

参加者：5名(静岡北1、藤枝3、磐田1)

天候：①晴/曇 ②晴

地図：鳳凰山

コースタイム：藤枝＝青木鉱泉 843-918…南精進ヶ滝 1124-45…鳳凰ノ滝分岐 1217-53…白糸ノ滝 1415…五色ノ滝 1500-11…鳳凰小屋(泊)1610-600…地藏岳 716-55…鳳凰小

屋分岐 923…観音岳 1010-20…薬師岳 1050-1130…御座石 1235…中道登山口 1620…青木
鉱泉(入浴) 1700-1800=藤枝

記録:藤枝支部 ゆ記

南精進ヶ滝



鳳凰ノ滝



白糸ノ滝



五色ノ滝



地藏岳のオベリスク



地藏岳から観音岳を望む
(ホウオウシャジンと富士山)



観音岳への登り
(オベリスクと甲斐駒ヶ岳)

タカネビランジ



愉快的ヤマネの子

